

目的 看護の可視化

～看護を言語化することで自己の看護観を再認識でき看護実践の役割モデルになることができる～

Ⅳ 事例検討会  
17:30～19:00

開会式 17:30

事例検討会 17:45～

・多目的ホール1 ポスターセッション

・多目的ホール2 ポスターセッション

・多目的ホール3 休憩

閉会式 18:45



植田美由紀副院長・看護局長  
18部署の主任看護師が各部署  
で抱えている問題や悩んだ事例  
について取り組んだ過程が見え  
ました。さらに実践モデルとし  
て活躍することを期待します。

教育委員 2C病棟副看護師長 櫻井 励子  
主任看護師として、それぞれ病棟の特殊性を踏まえて、  
自己の課題を見出し発表して頂くことができました。



・患者さんから貰っている元気を、何倍にして返せる看護力を身につける！  
 ・チームで協力、助け合い、患者さんにとってベストな看護を提供したいです。

ICU 岡田かおり



自分自身の積み上げてきたもの、大事にしてきたものが再認識でき、改めて、一生の仕事として、看護職を選んだことに間違いがなかったと感じています。

産婦人科外来 斉藤幸子

自分の看護を振り返るにあたりスタッフにも協力してもらったなかで、自分の気が付かなかった部分に目をむけることができました。又、見ていただく中でも'良い振り返りができてよかったですね'との言葉をいただきやってよかったと感じました。

7B 病棟 加賀爪冬彦



患者さんの想いに沿った看護をスタッフと共に行って行きます。

